

養老町清流の国づくり計画書

養老改元 1300 年プロジェクト（新生養老まちづくり構想下部計画）



平成25年5月
養老町

養老町清流の国づくり計画

1 基本理念

『養老町清流の国づくり計画』とは、ぎふ清流国体の開催を機に、様々な活動を通じて得られた“地域の絆”や“養老町が持つ魅力の再発見・再認識”を一過性のものに終わらせることなく、今後のまちづくりの礎として生かしていこうとするものです。

これは、岐阜県が進める「清流の国ぎふづくり」と連動し、全国植樹祭、全国豊かな海づくり大会、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会などの開催により、私たちが再発見・再認識した養老町の貴重な歴史や文化、豊かな自然などの地域資源を活用し、家族や地域を土台とした強固な結びつきである“絆”の力で、さらに夢のあるまち養老町となるよう、その成果を未来へつなげていこうとするものです。

折しも、養老町は西暦 2017 年（平成 29 年）に養老改元 1300 年を迎えることから、地域活性化につながるソフト・ハードの事業を総合的に展開し、家庭や地域での絆を強めながら、町民の健康づくり、町の産業振興、県内外からの観光交流の拡大、移住・定住の促進などに向けた地域づくりや人づくりなどを図ることができるよう「新生養老まちづくり構想」を策定しました。

今後は、この「新生養老まちづくり構想」に掲げる基本方針に基づき、“地域の絆”を大切にし、ふるさと養老町への“誇り”と“愛着”が持てるまちづくりを進め、養老町の魅力を全国に発信していきます。

2 計画の位置づけ及び計画の期間

養老町では、上位計画として、平成 23 年度（終期は、平成 32 年度まで）から『養老町第五次総合計画～絆プラン～』がスタートし、「誇りと愛着が持てる 絆を大切にすまち養老」を将来像にしたまちづくりを進めています。

また、この総合計画を踏まえ、平成 25 年 3 月には、家庭や地域、関係団体、（養老町への）来訪者が互いに絆を深めながら、“誇り”と“愛着”を持てるまちとなるよう、地域環境（自然、歴史・物語）の保全や魅力の向上を図りつつ、町の環境保全、町民の健康づくり、町の産業振興、人材育成などを図り、心と体を健康にできるまちを目指すため、「新生養老まちづくり構想」をとりまとめました。

そこで、養老町では、総合計画及び「新生養老まちづくり構想」の下部計画として、『養老町清流の国づくり計画』を定め、岐阜県が進める「清流の国ぎふづくり」と連動し、ぎふ清流国体などを通じて得られた“地域の絆”や“養老町が持つ魅力の再発見・再認識”を今後のまちづくりの礎として、その成果を未来へつなげていくものとします。

なお、この『養老町清流の国づくり計画』は、平成 25 年度から「新生養老まちづくり構想」の目標年次である西暦 2017 年（平成 29 年度）までの 5 年間とします。

3 基本方針（「新生養老まちづくり構想」より抜粋）

この『養老町清流の国づくり計画』は、「新生養老まちづくり構想」の基本構想に掲げる基本方針に合わせ、つぎの4つの方針により進めます。

【方針1】 養老の郷づくり

養老町のシンボルである養老公園や養老山麓及びその周辺を「養老の郷」と称し、豊かな自然環境や歴史文化等を保全しながら、地域の魅力や回遊性の向上を図り、観光交流の促進につなげるとともに、地域資源を活用した町民の健康づくり、移住・定住促進へとつなげていくことを目的とした郷づくりを、町民、事業者、行政等の協働で進めます。

また、「養老の郷」を「養老公園エリア（観光・文化の拠点）」、「養老山麓エリア（健康づくりの拠点）」、「田園エリア（農業・福祉・予防医療の拠点）」の3つに分けて郷づくりを進めます。（別添資料）

【方針2】 養老改元1300年祭に向けた取り組みの展開

「養老改元1300年祭」を町全体で盛り上げ、その普及啓発を図るため、子どもからお年寄りまでのすべてが参加・参画でき、町民が一体となるイベントの開催や町民主体の養老改元1300年祭事業などに取り組んでいきます。

また、町内外に「養老改元1300年祭」を周知し、開催ムードを盛り上げていくため、普及・啓発グッズの開発や、町の魅力を全国に発信できる養老新名物の開発などを、町民、事業者、行政の英知を結集して取り組んでいきます。

【方針3】 親孝行の心を育むまちづくり

親孝行や家族の大切さを題材とした「家族の絆 愛の詩」募集事業を継続・発展させながら、お年寄りを敬う心、親孝行や家族との絆の大切さを思う心を全町民に改めて伝え、親孝行の心を育む人づくり、地域づくりを進めていきます。

【方針4】 養老の魅力発信の強化

新生養老まちづくりを推進するため、町内外へ養老町の魅力を効果的に発信し、観光や交流を促進します。

町民や地域をはじめ、民間企業などの参画を促すため、積極的な広報・広聴活動に取り組みとともに、さまざまな媒体を活用したPR戦略を展開し、町内外での協働による協力体制の構築へとつなげていきます。

4 実施計画

この『養老町清流の国づくり計画』の基本理念を具現化するため、基本方針に掲げる方向性に合わせて、次のような事業（☆マークは、リーディング事業として特に先導的に推進する事業を意味します。）を予定しています。ただし、この計画を推進するには、岐阜県をはじめ、様々な関係者との協議・検討を重ねた上で、事業の効率性や持続性などあらゆる観点からの検証が必要です。

【方針1】養老の郷づくり

〔養老公園エリア〕

（1）養老公園内及び周辺の回遊性向上と景観形成

“養老の滝”の魅力をさらに高め、誘客を図るため、養老の滝前広場の整備を岐阜県の協力を得ながら進め、滝前広場でのイベントの企画のほか、ボランティア等との協働により安全性に配慮した園路の景観形成に努めます。

<主な事業>

滝前広場整備事業（H25~28）、滝前広場イベント事業（H25~）、園路整備事業（H25~）、園路景観形成事業（H25~28）、景観ボランティア登録事業（H25~）、再生可能エネルギー活用事業（H25~）

（2）養老公園におけるにぎわいの創出

公園設置者である岐阜県と連携し、多くの人々が利用しやすく、様々なイベントに活用できるよう、芝生広場の常設ステージ整備を進めます。公園内の景観整備を推進し、滝谷沿い店舗や宿泊施設のリニューアルを促し、来訪者が長時間にわたり楽しめるよう、飲食やお土産、宿泊、レクリエーションを充実させ、にぎわいの創出を行います。

<主な事業>

☆常設ステージを活用したにぎわいプロデュース事業（H25~）、養老公園景観整備計画策定事業（H25~）、養老公園周辺地域景観づくり事業（H25~）、宿泊施設の改修・リニューアル促進事業（H25~）、養老公園内商業活性化事業（H25~）

（3）来訪者へのおもてなし機能の向上

親孝行のふるさと会館や孝子館をリニューアルし、おもてなし機能を向上させ、知名度が低い元正天皇行幸跡地周辺を来訪者向けに再整備しながら、この地に古くから伝わる孝子物語などをガイドする観光ボランティアの養成に取り組みます。また、道路管理者と連携し、養老公園に至るアクセス環境（案内看板の統一・電光掲示板の設置）や景観を整備し、観光シーズン時の渋滞緩和など道路交通対策を進めます。

<主な事業>

☆親孝行のふるさと会館リニューアル及び周辺整備事業（H25~28）、☆観光情報の収集・

発信事業（H26～）、☆元正天皇行幸跡地周辺整備事業（H25～28）、養老キャンプセンター再整備事業（H25～）、観光ボランティアガイド養成事業（H25～）、観光ボランティア運営事業（H25～）、養老公園周辺道路アクセス向上事業（H25～）、養老駅前案内板設置事業（H25～）、臨時シャトルバス運行事業（H25～）

〔養老山麓エリア〕

（１）養老山麓をゆったりと楽しむ環境の整備

養老の滝、秣の滝、直江の滝の三滝を回遊する遊歩道を、地域住民との協働で整備します。養老公園と田園地帯を回遊するウォーキングコースを設定し、町民によるおもてなしの取り組みを促します。

＜主な事業＞

☆養老三滝をつなぐ遊歩道整備事業（H25～）、☆養老三滝周辺休憩施設整備・維持管理事業（H25～）、☆養老三滝PR事業（H26～）、☆ウォーキングコース設定事業（H26～）、☆ウォーキングコース周辺整備事業（H27～）、☆ウォーキングボランティアガイド養成事業（H25～）、☆健康増進プログラム・ツアー開発支援事業（H25～）、サイクリングロード整備事業（H26～）、レンタサイクル導入事業（H26～）

（２）養老山麓の自然を楽しむ登山道・自然歩道の魅力の向上

元正天皇行幸路の一部と伝えられる東海自然歩道の再整備とそれを活用したイベントを企画・運営します。養老山への登山道を整備し、ガイドマップを作成します。

＜主な事業＞

東海自然歩道整備事業（H25～）、東海自然歩道活用事業（H25～）、養老山麓登山道整備事業（H25～）、登山・ハイキングガイドマップ作成事業（H25～）

（３）周辺道路の交通環境の向上

主要地方道大垣養老公園線バイパスや県道養老平田線（大跡～石畑）、主要地方道南濃関ヶ原線（石畑～柏尾）について、道路管理者である岐阜県と連携して整備を進めます。

＜主な事業＞

主要地方道大垣養老公園線バイパス整備促進事業（H25～）、周辺町道整備事業（H25～）、県道養老平田線整備促進事業（H25～）、周辺町道整備事業（H25～）、主要地方道南濃関ヶ原線整備促進事業（H25～）

〔田園エリア〕

（１）関連施設の誘致・整備による健康・医療機能の向上

いつまでも元気に暮らし続けられるまちづくりを進めるため、健康増進や予防医療を目

的とした民間施設などを誘致します。町として温泉施設の有効活用を検討するほか、現在は分散している保健センターと老人福祉センター等の機能を集約し、健康福祉拠点施設の整備を進めます。

＜主な事業＞

健康増進・予防医療施設等誘致事業（H25～）、☆温泉施設経営参画事業（H25～）、☆健康福祉拠点施設整備事業（H26～）

（２）健康づくりと観光を兼ねたクラインガルテン（滞在型市民農園）の開設

町内外の農業に関心を持つ人を対象に、クラインガルテンや体験農園等の整備に取り組みます。また、農業関係団体と連携し、クラインガルテン利用者のサポート事業を進めるとともに、将来的な移住・定住を目指します。

＜主な事業＞

☆クラインガルテン整備事業（H25～）（都市との交流による農業・農地活用検討調査事業）、☆体験農園等整備運営事業（H25～）、農作業サポート事業（H25～）

（３）幹線道路沿いにおける産地直売、飲食施設の整備

温泉施設周辺に、養老町の魅力を発信したり地元の農産物・特産物を販売したりするため、休憩施設や様々な体験ができる道の駅機能を持った施設を整備するほか、薬草農園や食肉関連産業などを誘致します。

＜主な事業＞

道の駅機能整備事業（H25～）、体験プログラム提供事業（H25～）、関連施設誘致事業（H25～）

【方針２】養老改元1300年祭に向けた取り組みの展開

（１）「養老改元1300年祭」周知のためのイベント等の開催

養老改元1300年祭（本祭）を町内外に広くPRするため、2016年（平成28年）まで、毎年イベントを開催し、本祭に向けた機運を盛り上げ、養老町の魅力を全国へ発信していきます。

- ① 各種イベントの企画・開催（養老改元1300年祭イベント事業・「養老の日」関連事業）
- ② メディアを活用した町内外へのPR
- ③ 町内の特産品や名物、郷土芸能、伝統文化などのPR
- ④ 本祭開催に向けた機運の醸成

（２）2017年の「養老改元1300年祭」の開催

町民のすべてが参加・参画でき、町民が主体となる本祭を開催します。このため、公募委員や学生などの参画を促し、様々な世代の意見が反映されるような体制づくりを進めま

す。「養老の郷」全体を活用し、養老町の魅力が体感できるイベントを企画します。養老町の魅力を発信することにつながる、全国レベルの大会の誘致を目指します。

- ① 実行委員会の立ち上げと開催・年次計画の策定
- ② 養老町の魅力を満喫できるイベントの企画・開催
- ③ 養老町の魅力発信につながる全国イベント等の誘致・開催

(3) 町民が主体となる 1300 年祭関連事業の展開

各種団体や学校、企業のほか、町民有志などが実行委員会を立ち上げ、自由な発想でイベントを開催できるよう、町民自らが主体となり行う事業に対し助成をするなどの支援を行います。また、地域の催しや祭りなどに「養老改元 1300 年祭」の冠を付けるといった関連イベントを募るほか、ステージイベント等の企画をインターネットなどを通じて公募し、町民に発表の機会を提供します。

- ① 町民主体によるイベント開催などへの助成制度（町民企画事業支援事業）の創設
- ② 町民等による養老改元 1300 年祭関連イベントの実施
- ③ 町民等の企画提案による町民参加のステージイベントの開催

(4) 「養老改元 1300 年祭」の開催に向けての普及・啓発

本祭開催に向けた記念のグッズやリーフレットを作成します。民間には、包装紙や封筒、名刺などにロゴの記載を促し、本祭開催を町内外に広く周知します。

- ① 養老改元 1300 年祭の周知に向けたグッズやリーフレット等の作成
- ② 養老改元 1300 年祭の記念グッズ等の作成・販売
- ③ 町のイメージソングの改善と町民への普及

(5) 郷土料理や土産物などの養老新名物の開発

地元の食材や養老の地でしか味わえない料理を発掘・クローズアップするほか、企業などと連携した商品の開発・販売を行います。

- ① 地元の食材を生かした名物（ご当地グルメ促進事業）土産物の開発・販売戦略の策定
- ② 企業や高校と連携した商品の開発・販売
- ③ イメージポスターイラストを活用した商品の販売

【方針3】親孝行の心を育むまちづくり

(1) 「家族の絆 愛の詩」募集事業の拡充

「家族の絆 愛の詩」募集事業を今後も継続していくため、町民への啓発活動や全国への情報発信に力を注ぐほか、過去の入賞作品を教育の場で有効に活用します。

- ① 町民への普及啓発と一般募集の拡大
- ② 詩集本の作成と活用

③ 『養老の日』にあわせた「家族の絆 愛の詩」の発表会の開催

(2) 「親孝行のふるさと」意識の醸成

養老孝子物語や元正天皇による「養老改元」など、地域の歴史や文化の保存・活用に取り組むほか、親孝行や敬老の意識を町内外に周知します。

- ① 地域の歴史文化の保存と活用
- ② 町民への親孝行や敬老の意識の醸成
- ③ 「親孝行のふるさと」の町内外に対するPR事業の展開

(3) ボランティア活動の促進

各分野におけるボランティアの総合的な窓口を設置するとともに、ボランティア団体の登録制度のネットワーク化、人材の育成を図ります。

また、町内では地域の課題を見だし、自主的な活動を行うNPO法人がまだまだ少ないため、設立や法人化後の活動に係る経費を支援する制度によりNPO法人の設立支援を行います。

- ① ボランティア活動センターの設置
- ② ボランティアを行う人材の育成とネットワーク化
- ③ NPO法人の設立・初期活動の支援（地域づくり推進事業）

【方針4】養老の魅力発信の強化

(1) 効果的な広報活動の展開

町広報紙やホームページのほか、新聞やテレビ、ラジオなど、各種のマスメディアと連携し、養老町の魅力を全国に発信します。

- ① 効果的なPR指針や実施計画の策定
- ② マスコミや各種メディア等を活用した広報活動の展開
- ③ 町の魅力紹介コーナーの設置とボランティアガイドの活用によるPR

(2) 「住民等との協働」による普及啓発

養老改元1300年事業の意義を町内外へ周知・啓発します。また、口コミによる情報伝達やSNSなど、インターネットを活用した広報活動を町民との協働により行います。

また、養老改元1300年事業だけでなく、まちづくりは今後も継続的に行う必要があることから、意欲のある町内在住・在勤者を対象に、今後のまちづくりのリーダー的存在として活動・活躍する人材を養成します。

- ① 養老改元1300年記念事業や祭りの意義の啓発
- ② 町民との協働による広報活動の実施
- ③ 地域づくり推進事業（まちづくりリーダーの養成）

(3) 養老町に關係する企業、地域への協力要請

養老にゆかりのある企業や地域などのほか、養老町出身で東京や大阪などの大都市で活躍する人や企業に対し、1300年事業への協力要請を行います。

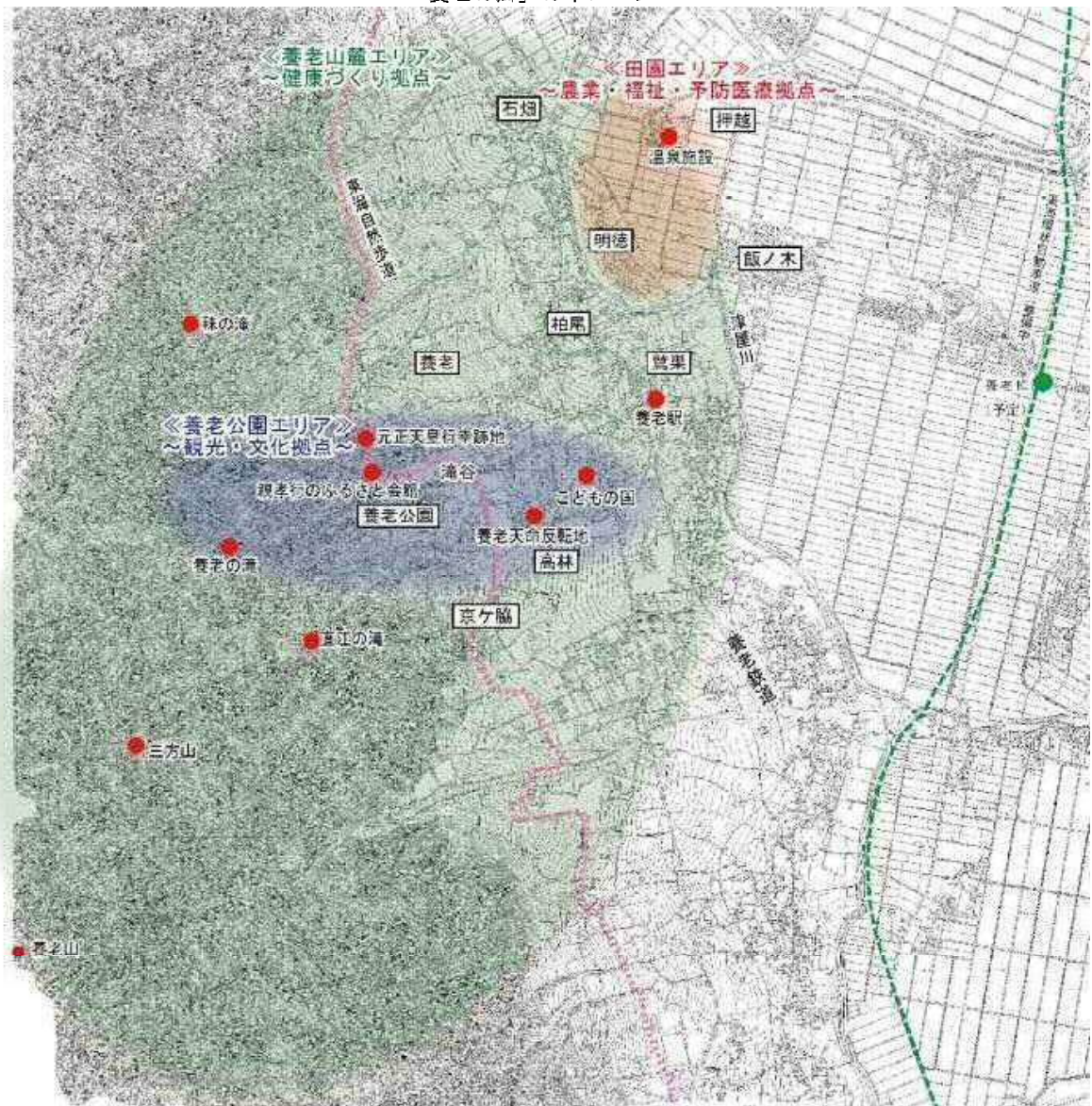
- ① 養老町出身者等への協力要請
- ② 企業や地域への協力要請や連携したPR

5 計画の推進に向けて

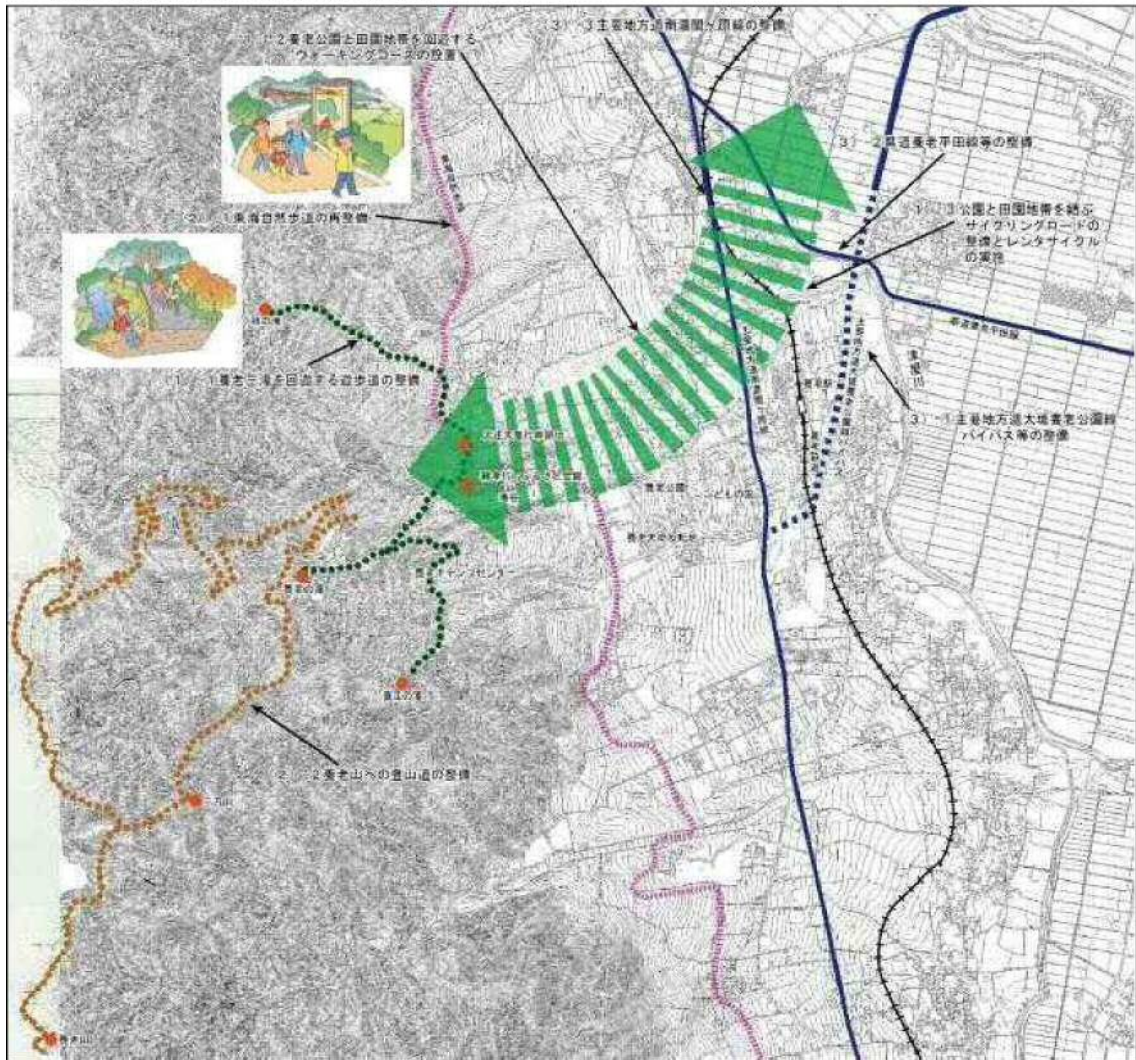
事業の推進にあたっては、多くの財政的な支出を必要とすることから、各事業のひとつひとつをあらゆる角度から検討し、行政として実施すべきとなった場合には、『養老町行政経営改革プラン（平成23年7月策定）』において取り組む行政評価と同様、PDCAサイクルによる進捗管理を厳正に行い、庁内において課題の検証・計画の見直しを随時行うこととします。

また、個々の事業の進捗管理だけでなく、事業全体のマネジメントも必要であることから、各部・各所属がそれぞれ協力・連携を円滑に行うため、「養老町部課長会議」においてこれを行うものとします。

「養老の郷」のイメージ



《養老山麓エリアでの事業マップ》



《田園エリアでの事業マップ》

